

学区内での交通事故 中岡交差点での登校指導について

● 鵜沼小学区での人身事故発生状況の変化

KFPでは平成19年に藤沢警察署交通課の協力をえて、鵜沼地区で過去3年間に発生した届け出のあった交通事故を調査し、鵜沼地区交通ハザードマップを作成しました。鵜沼小学校の正面玄関を入ったコモンスペースの柱に掲示してあるのをご覧になった事があるでしょうか。

平成16年から平成18年の3年間で、鵜沼小の学区内の交通事故発生ポイントが目立った箇所は、国道と県道を除くと、藤が谷1-1の点滅信号(第二はす池から江ノ電の線路に向かう道路と、もみじ幼稚園から鵜沼高校に向かう道路との接点)で7件、上岡交差点(本鵜沼商店街のバス通り側の出口の点滅信号)で6件、桜が岡2-8(湘南学園からはす池に向かう通りと、松島苑通りの接点)で6件となっており、危ない交差点だと認識されている方も多いと思います。

その中で鵜沼小横の中岡交差点については警察に届けられた交通事故は、この期間中、何と0件でした。信号機や登下校指導などが抑止力になっている証しだと思います。

マップ発行から3年が過ぎ、交通事故の発生状況が変わりつつある事を感じます。登下校中に事故に遭うケース、放課後や夏休み中に車と接触し児童が救急搬送されたなどを含め、追跡調査したところ、中岡交差点だけでも平成19年~21年の3年間で0件から3件と増加しています。それ以外の地点でも増加している箇所もあります。一戸建て住宅やマンションの増加と共に車や自転車などの交通量が増し、それに比例して交通事故の発生件数が増えて来ているようです。ヒヤリハットデントは皆さんも目撃、あるいは経験されていると思います。

交通ルールを守り、安全確認と焦らずゆとりを持つ事で大多数の事故を防ぐ事ができます。今回は中岡交差点での旗振りなど登下校指導の観点から、子ども達への交通ルールの周知について考えてみたいと思います。

● 大人が手本になる

中岡交差点の信号機は24時間の中で5パターンほどの時間変更がプログラムされています。登校時と午後は長く、午前中はやや短く、深夜から早朝は早く代わるように交通量の変化に応じた設定となっています。長すぎてもイライラして待てなくなり、短すぎると渡り切れないなどの支障を来します。

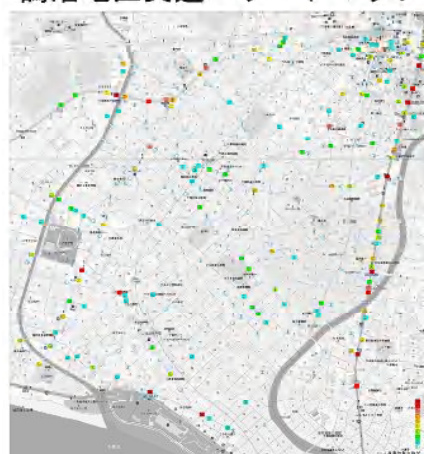
急いでいるから、車が通っていないからという理由で、あちこちの交差点で信号を無視する身勝手な大人の姿を見かけます。また、子どもの目の前で信号無視する大人がいます。それを見た子どもはどう思うでしょうか？

下校指導中に子どもが信号無視して、車が急ブレーキをかけ危険回避した事もあります。逆のケースで車が信号無視して児童の列に突っ込んで来そうになった事も経験しています。基本、大人が手本とならなければいけません!!

● 子どもは五感が未発達

大人が思っているより、子どもは視野が狭く、識別聴覚も未発達です。加えて実体験が少ないため、危険回避能力は低く、ダメという事は大人から聞いていても、それを即行動に繋げることは難しいのです。特に低学年の児童では、話に夢中になったり、ふざけ合っていると、周囲のもの、自分のいる状況などが分からなくなります。また、何か危ないという殺気を感じ取る能力は、怖い思いをしないと身に付きません。自分の背丈の2倍近い所から平気で飛び降りてしまうケースなども同様です。大きな事故に巻き込まれないよう、小さな経験で感じ取ってほしいです。

鵜沼地区交通ハザードマップ



●中岡交差点での登校指導(旗振り)について

年間にして約200日、毎朝7時50分から8時30分まで2名の保護者が当番で、中岡交差点と一木通り入口で登校指導を行っています。暑いとき、寒いとき、激しい雨の降る中も、子ども達が安全に登校できるように、立って下さっています。朝の炊事を済ませから当番に向かうお母様。お仕事があるにもかかわらず調整して来られるお母様やお父様、いつもありがとうございます。

新入学や転校されて来られ、初めて立つという方もいらっしゃると思います。横断旗や交通腕章、誘導方法などの関係書類と反省ノート等が前日の当番さんから回って来ます。必ず前夜にでも一読して下さい。

雨脚が強い日は校長先生が信号待ちする子どもの誘導に来られます。またKFPも1名が応援に行きますので、協力して、児童が安全に登校出来るように誘導をお願いします。

以下はそれぞれの持ち場での注意すべき要点です。参考にして下さい。

◆中岡交差点の角

* 立ち位置は信号制御ボックスと壁に掲げてある湘南学園の看板の間。前に出すぎると鵜沼海岸方面から右折してくる車や鵜沼海岸方面に左折する車に当番自身や児童が巻きこまれる可能性があるので注意する。

* 赤信号で待機している児童は壁側に二列縦隊(ピーク時は三列)で前に詰めて一度に多く渡れるようにする。

当番と車の停止線の間は二列縦隊。停止線から一木通りまでは車がすれ違いできるように一列で路側帯内(白線内)を歩くように指導する。

* 中岡手前で待機する車が一木通りまで繋がり、特に先頭車が鵜沼海岸方向に左折ウインカーを出している場合は、歩行者用信号が点滅する前に児童を制して、待機車をバス通りに流す。

歩行者用信号は20秒で点滅し、23秒で赤に、車両信号はその10秒後に赤信号になる。

* 児童の登校ピークは8時前後となる。雨脚に比例して通勤や送迎の車が増えるので注意!!



◆一木通りの角

* 一木通りへの車両(自転車も含め)の出入りがなければ、中岡で待機する児童数を考慮して前に進める。

出入りの車両がある場合は、誘導旗を用いて児童を制止させる。

* 中岡側の停止線から一木通りの角まで車が繋がって、路側帯内も児童が進めない状況なら、児童を制止させ、路側帯内を一列ないし二列で列ばせて待たせる。

* 特に雨天時、中岡を先頭に多くの車が繋がってしまう場合、背の低い低学年の児童が傘をさして壁と車の隙間を通る事は困難になるため、次々に信号側に児童を進めてしまうと、車も動くことが出来なくなり、一時的に交通マヒとなる。これまでは一木通りの角にあったアパートの駐車場が、子どもの待避スペースとなっていたが、取り壊されて工事中となっているため、S字カーブから一木通りに向かって、児童の長い列が出来事はやむを得ない。そのようなケースになった場合は無理に前に押し寄せないように大きな声とジェスチャーで左側の寄って待つよう指示する。

◆通行止め表示の黄色い看板について

中岡交差点から裏門の先までは毎日7時から9時まで、車両通行止め(自転車の乗用も原則禁止)となっています。この区間の前後には警察が設置した規制標識が設置されていますが、気が付かずに通り抜ける車両があるため、30年間中岡で登校指導されていた金子さんが黄色い看板を製作して下さいました。

規制により児童が守られていても、規制区間内にお住まいの住民や駐車場を利用する方の車は警察から許可証をもらって、登校中にも数台出入りしますので、看板の設置位置については、裏門側側の看板は車が一台分通れるようにずらしておく必要があります。

設置する位置がわかるように白いペンキでマーキングしました。路面にスクールゾーンと書かれている少し先に4つの点がありますので目安して下さい。規制時間は9時までですが、8時半の始業のチャイムが鳴りましたら両側の看板を指定の場所に戻して、登校指導を終えて下さい。

※中岡方面だけでなく、各地区で我が子やお友達がキチンと安全に登下校できているか、時折ご覧いただき、ご家庭でもご指導いただければ幸いです。まもなく夏休みですが2学期も登校指導よろしくをお願いします。

編集:KFP広報部